

## 1 指導概要

教科		科目		
公民		倫理	単位数： 2 単位	
② 指導目標：人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めます。				
メディア視聴	あり	60%	教科書	『倫理』東京書籍
スクーリング	1 単位時間×2 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	人間の心のあり方・ギリシャの思想 1 人間の特質と青年期の課題 2 認知・感情と個性・発達 3 哲学の誕生と自然哲学	第 1 回  (4/30)	第 1 回	・人間の定義について考えた上で，パスカルの言葉を手掛かりに「考えること」の意義について考察する。 ・自己と他の青年がおかれた現在の状況をふまえ，人生における青年期の位置づけや特徴，現代社会におけるその特質について考察する ・さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って，「哲学」の意味や，「哲学すること」の意義について理解する。 ・人生における宗教の意義や，宗教が人間や社会に与えた影響について，デュルケームなど先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして理解する。
2	さまざまな人生観・倫理観・世界観 I 1 キリスト教の展開 2 イスラームの展開 3 仏教の展開 4 中国の思想	第 2 回  (5/30)		・西洋における近代化の特徴について，現代に通じる人間尊重の精神という観点から，地歴科や国語科，理科の授業内容と関連づけながら，その歴史的背景とともに理解する。 ・幸福，真理，存在などに着目して，現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想について，両者の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察する。
3	さまざまな人生観・倫理観・世界観 II 1 近代と人間尊重の精神 2 近代思想の展開 3 社会変革の思想 4 理性への疑念	第 3 回  (6/30)		・日本の仏教受容について，仏教の伝来と奈良仏教，平安仏教の展開，神仏習合の考え方を理解しながら，外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか，また，それらが日本人の思想形成に与えた影響について多面的・多角的に考察する。
4	さまざまな人生観・倫理観・世界観 II 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 人間観・言語観のといなおし 2 他者と自然とのかかわり 3 日本人の精神風土	第 4 回  (7/30)	第 2 回	
5	国際社会に生きる日本人としての自覚 1 仏教と日本人の思想形成 2 庶民の思想 3 西洋思想と日本人の近代化 4 国際連合の役割と課題	第 5 回  (8/30)		
6	国際社会に生きる日本人としての自覚	第 6 回		

	<p>現代の諸課題と倫理</p> <p>1 国際社会に生きる日本人の自覚</p> <p>2 自然</p> <p>4 戦争と平和</p>	<p>(9/30)</p> <p>提出期限 (11/30)</p> <p>※提出予備日 (1/15)</p>	<p>・今日の戦争、紛争、テロの問題や、消費社会、貧困と格差の問題について理解を深め、戦争等が起きる背景や、人類全体の福祉という観点から私たちが目指すべき「豊かさ」について多面的・多角的に考察し、理解する。</p>
--	---	--	---

## 2 評価の観点

<p>知識・技能</p>	<p>古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>
<p>思考・判断・表現</p>	<p>自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>

## 3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。

## 4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。人生に役立つ考え方が学べるかもしれません。